

令和2年度 女性活躍推進関連の主な施策 2,121億円 (1,744億円)

() 内は前年数値

働く場における女性活躍の推進 584億円 (201億円)



- 企業で働く女性管理職等のキャリア支援事業 0.6億円 (新規)
女性管理職のキャリア維持や更なる向上に向けて、気運醸成やキャリア支援のための講演会・交流会等を実施し、意識啓発や幅広い仲間づくりを支援する。
- キャリアデザインのためのeラーニングコンテンツ作成 0.3億円 (新規)
就職活動を迎える前の若者を主な対象とし、スマートフォンやタブレット等で気軽に楽しみながらキャリアデザインについて学べるコンテンツを提供することで、若者のキャリアデザイン意識を醸成する。
- 女性しごと応援テラス 多摩ランチ 1億円 (新規)
多摩地域における女性の就業支援の充実を図るため、女性しごと応援テラスの多摩地域の拠点を設置し、キャリアカウンセリングや、就職に必要な能力に開発等に資する支援プログラム、各種セミナーを実施する。
- 新型コロナウイルス感染症対策に係るテレワーク活用促進緊急支援
447億円 (新規)
新型コロナウイルス感染症予防等の安全対策のため、従業員が利用可能なテレワーク制度整備に係る機器導入等の経費を助成及び普及啓発を実施する。
- テレワーク導入モデル体験事業 2億円 (新規)
都内企業にテレワークを体験できるツールを無償貸与することにより、テレワークのメリット・効果を体感できる機会を積極的に提供する。

子育てや介護に対する支援

1,188億円 (1,165億円)

- 保育サービスの拡充 371億円 (368億円)
認可保育所や認証保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育など、地域のニーズに応じた多様な保育サービスの整備を推進する。
- 認可外保育施設利用支援事業 42億円 (34億円)
認可外保育施設を利用する保護者の負担軽減を図るため、利用料の一部を補助する区市町村を支援し、地域の実情に応じた保育サービスの整備促進及び質の向上を図る。
また、子供を2人以上持ちたいと願う保護者が、安心して子供を産み育てられるよう、多子世帯に対し、認可外保育施設の利用料の負担軽減を図る区市町村を支援する。
- とうきょうママパパ応援事業 37億円 (12億円)
妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行うため、ワンストップで必要な支援を提供できる体制を整備するとともに、育児パッケージの配布や、専門職による全ての妊婦との面接を通じた全ての子育て家庭の状況把握を行い、産後ケアや産後の家事・育児支援、多胎児家庭支援等を実施する区市町村の取組を支援する。



- 一時預かり事業補助 11億円（9億円）
保護者の疾病や災害等に伴い、緊急・一時的な保育を必要とする時、また育児疲れによる保護者の心理的・肉体的負担を軽減するため、保育所等において児童を一時的に預かることで、安心して子育てできる環境を整備する。
- 定期利用保育事業補助 9億円（5億円）
パートタイム勤務や育児短時間勤務等、保護者の就労形態に多様に対応し、保育所等において児童を一定程度継続的に保育することで、安心して子育てできる環境を整備する。
- 学童クラブ事業の充実 87億円（53億円）
保護者が労働等により昼間家庭にいない都内小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業を行う区市町村に一定の補助を行う。
- 介護休業取得応援事業 0.4億円
従業員に介護休業を取得させ復帰させた企業への支援を行うことで企業の職場環境整備を推進する。

あらゆる場における女性の活躍推進に向けた支援

358億円（378億円）

- TOKYOメンターカフェ（仮称） 0.6億円（新規）
悩みや不安を抱える女性が、仕事や子育て等の経験を持つ助言者「都民メンター（仮称）」に気軽に相談できる場をネット上に開設する。
- 住宅確保要配慮者に対する居住支援の推進 4億円（3億）
住宅セーフティネット法に基づき、住宅確保要配慮者（高齢者、障害者、子育て世帯、DV被害者など）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図る。
- 女性医療の充実 0.4億円（新規）
様々な診療科及び多職種による連携の下、思春期から妊娠の前段階、妊娠、出産、子育て／仕事、更年期、老年期と女性のライフステージに応じた医療及び支援を切れ目なく提供する体制を整備する。
- 配偶者暴力被害者等セーフティネット強化支援事業 0.8億円（新規）
民間シェルターの先進的な取組を促進するための経費や、区市町村が民間シェルター等の先進的な取組を促進するために要した経費に助成し、その活動を支援する。